

女性部会 総会

～県商女性会 令和5年度総会 三原開催に向けて～

本所女性部会(塚本妙子会長)では、4月27日(木)に本所にて令和5年度通常総会を開催しました。(出席者数13名、うち委任状4名)

議事では、令和4年度事業報告・収支決算、役員改選、令和5年度事業計画(案)・収支予算(案)について慎重な審議が行われ、いずれも原案通り可決承認されました。会長は再び塚本氏、副会長は出田氏が選出されました。

塚本会長は、「会員増強に力を入れ、魅力ある会の実現を皆様と共に目指します。今年度三原で開催される県商女性連総会に向け、お越しになる皆様に喜んでいただけますよう努めて参ります。」と抱負を述べました。

閉会に際し、来賓として出席した大東副会頭は、「皆様は、仕事・子育て・介護の問題など目の前の課題に常に堅実に取り組んでいらっしゃいます。皆様の素直な感性と実行力で三原を、そして本所を盛り立てていただきたい。」と挨拶を述べられました。

その後、フォレストヒルズガーデン「リストランテフォルネッロ」に会場を移し、昼食をとりながら懇親を深めた後、県商女性連総会会場の下見を行い、三原の魅力が伝わる県商女性連総会にするため、入念なチェックや打ち合わせを行いました。



塚本 妙子 会長



入会案内

女性部会では、会員を募集しております。ご興味のある方は、ぜひ一度ご参加ください。
【申込・問合せ】事務局 實廣(0848-62-6155)

尾道糸崎港に豪華客船が寄港

～歓迎セレモニーを開催しました～

4月25日(火)にアメリカ船の「STAR BREEZE」が寄港し、三原市や三原商工会議所、三原観光協会による歓迎セレモニーが開催されました。

式典では、藤原副会頭からペドロ・ピント船長に三原だるまを贈呈しました。

新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけの見直しや水際対策の緩和などにより、今後も国内外の観光客の動きが活発化していく兆しが見えた寄港でした。



BWCキャンペーン 進発式

～会員事業所の福利厚生制度を推進～

三原商工会議所では、会員事業所の福利厚生のため、また経営者の事業保障などを目的に、各種共済制度の推進に取り組んでいます。

この度、次の期間を重点推進期間として福祉制度のご案内をさせていただきます。

期間：令和5年5月1日(月)～6月30日(金)

キャンペーン実施にあたり、5月10日(水)、本所にて進発式を行いました。会員事業所の福利厚生充実の一助になれるよう、アクサ生命保険(株)三原営業所の鳥田所長から「会員事業所様の福祉の向上のために、尽力していきましょう！」との掛声があり、職員の機運を高めました。



職員が事業所訪問させていただきます

5月22日(月)～6月9日(金)の期間、本所職員とアクサ生命保険(株)の社員が、皆様の事業所にご挨拶に伺います。共済について、何か気になること等ございましたら、お気軽にお声掛けください。貴重なお時間を頂戴いたしますが、よろしくお願いたします。



今月の内容

【2面】新入社員セミナー開催

【3面】広島みはらプリン

【4面】経営支援GOOD

【5面】ヴィクトワール広島

【6面】半どん夜市 三原商栄会連合会

【7面】職場のかたんメンタルヘルス

【8面】2023ミスやっさ決定しました！

新入社員セミナー開催 ～「社会人になる」心構え～



講師：田中とも子氏

本所では、4月26日(水)に「新入社員教育研修会」を開催し、39名の方が参加しました。

講師に、Office39Square 代表の田中とも子氏をお招きし、社会人として必要な心構えや上司から指示を受けた際の確認事項など、わかりやすくお話いただきました。

社会人になると、学生時代とは異なり自分自身に対してはもちろんのこと、自分以外の様々なつながりに対して責任が生じてきます。

本セミナーでは、新入社員の方に、グループワークで実際に体験しながら社会人になる心構えについて学習していただきました。

「指示されたこと」を考える力 ～必要なのは、コミュニケーション力～



グループワークでは、上司から「明日の会議資料を準備してください。資料は、Aさんが持っています。」と指示を受けた場合、指示を受けた自分は“何を確認すればいいのか？”を想定して話し合いを行いました。

新型コロナウイルス感染症も5類に移行し、仕事のやり方がリモートからリアルに開催されることが多くなっていきます。Face to Face で、対面のやり取りが増える以上、より一層周りの人と協力して仕事を創り上げる必要があります。

しかし、一概に「コミュニケーション」といっても、どんなコミュニケーション力が必要なのでしょうか。

大切なのは、「相手の考えていることを知ろうとする力」、「相手の考えていること、指示していることを理解しようとする力」、「自分の考えを伝える力」であるということ。講師の田中氏は、これらの力を身に付けて、柔軟に対応していくことがポイントであると説明されました。

ご参加された方々には今回のセミナーを通じて、「仕事をする上で必要なコミュニケーションとは何か」を考えるきっかけになれば幸いです。

本所顧問 元副会頭 溝手顕正氏 逝去

本所顧問・元副会頭溝手顕正氏が、令和5年4月14日(金)にご逝去されました。(享年81歳)

葬儀は近親者により執り行われました。

溝手氏は、昭和49年に本所議員に就任され、昭和55年常議員、昭和58年からは副会頭をお務めいただきました。

その後は、三原市長、参議院議員に当選され、国家公安委員長などの要職をお務めになられ、国家の発展のためにご尽力されました。

ここに謹んで故人のご冥福をお祈り申し上げます。



浮城交流会(若手社員同士の交流の場)

テーマは「魅力のある職場とは？」

本所総務委員会(勝村晋委員長)では、4月26日(水)、会員事業所の若手社員同士が知り合うきっかけづくりを目的に、第6回浮城交流会を、新入社員教育セミナーの講座の中に組み込み開催しました。(参加者39名)



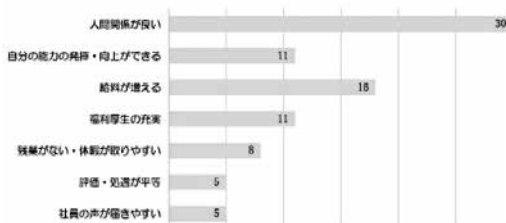
最初に、新入社員の方に【あなたの就職活動や社会生活について】のアンケートに回答してもらいました。その後、7グループに分かれ、アンケートの回答を基に「魅力のある(働きやすい)職場とは？」をテーマにディスカッションを行いました。

新入社員が考える「魅力のある職場」のホンネ

各グループの発表では、様々な回答がありました。「福利厚生が充実している」等の制度面の他、「人間関係が良好である」、「相談しやすい」、「発言しやすい」、「助け合える」等、人間関係の良好さに重きを置く意見が多数挙がりました。

最後に、講師より「魅力的な職場をつくっていくのは皆様です。これを旨ざすには、皆様のこれからの行動にかかっています。」とアドバイスをいただきました。

【あなたの就職活動や社会生活について】のアンケート結果 職場に望むことは？



アンケートの詳細は以下のQRコードよりご覧ください



広島みはらプリン 全国プロモーションへの足掛かりに

千葉の企業とタイアップして一歩踏み出す

広島みはらプリンプロジェクト実行委員会(以下、「実行委員会」、会長：本所 森光会頭)では、4月29日(土)、千葉県浦安市で行われた「第25回浦安市民まつり」において、広島みはらプリンの販売イベントを実施しました。

今回の催事出店の背景は、今年度の取り組みとして、東京など都心へのプロモーションを柱の一つとして掲げており、加えて「関東方面での販売チャネルの発掘」、「日持ちプリン開発による販売可能期間の拡大と輸送コストの削減による事業性の創出」などを計画し、より一層広島みはらプリンの周知を図るようにしています。

販売チャネルの発掘において、出店場所の提供をいただいたコインランドリー事業を展開する(株)wash-plusと連携し、会場最寄りのコインランドリーでの店頭販売が実現しました。

当日は、東京ディズニーリゾート®40周年スペシャルパレードも行われるなど、会場周辺は多くの来場者で賑わいました。

パレードを見ようと数万人が来場し、プリン販売の他、ふるさと納税をPRするチラシなども配布し、全国プロ

モーションの足掛かりにすることができました。

また、日持ちプリンの開発においては、県内産品の磨き上げ事業「HIROSHIMA FOOD HEROES CHALLENGE」に採択されました。7~10日程度の期限を設定できるプリンの開発支援として、参加店に対して専門家によるアドバイスや検査費用を実行委員会が補助し、商品開発を後押ししていきます。

そして、商品開発が進むと同時に販売チャネルの拡大にも取り組み、ひろしまブランドショップ「TAU」の他、民間同士の連携による販売スポットを創出し、より多くの方にプリンを手にとっていただける環境整備を進め、三原のPRに貢献していきます。



沢山の方に三原の魅力をお届けできました！

『おでかけプリンVol.02』のパンフレットできました！

＼ おかげさまでパワーアップ！ ／

まだまだ広島みはらプリン募集中！

2022年2月18日、デリカプリン5個、デザートプリン20個から始まった広島みはらプリンプロジェクトも、おかげさまで認定プリンが増え、69品になりました。

この勢いのまま、広島県のみならず、全国に認知の輪を広げていけるよう邁進していきます。

今回の「おでかけプリンVol.2」ではVol.1の内容に加え、営業時間なども追加し、より広島みはらプリンを身近に感じてもらえるようパワーアップしております。

こちらのパンフレットは所内HPに掲載。三原市各所に置いておりますので、ぜひご覧ください。



広島みはらプリン 公式HP



『夢実現』の架け橋になりたい！

しまなみ信用金庫

<http://www.shimanami-shinkin.jp>



三原商工会議所を活用して保険の見直し 保険を見直して経費圧縮に

Panasonic shop 宇根電器商会

〔代表者〕 宇根 節雄さん

〔住 所〕 三原市円一町3丁目14-9

〔TEL〕 0848-62-3272

◆事業内容について

昭和28年西町にて父が創業し、昭和30年に現在地へ移転し、昭和60年店舗を建て替え、現在に至っております。

私は昭和46年家電メーカーの学校を卒業後、家業に従事、その後50年間この業界に携わっている2代目です。

弊社は、パナソニック家電製品正規取扱店として、お客様への販売を通じて、商品価値の伝達、購入後の設備・工事、アフターフォロー、品質対応、個人情報管理等において、適切な運営を実施している販売店です。具体的な業務としては、家電製品の販売から修理、エアコンの取り付けなどを行っております。

◆これまでの会議所の利用状況について

会員事業所として、創業当初から加入させていただいており、確定申告と半年に1回の源泉徴収票の作成にお伺いしています。その際、尾田さんに担当していただき、親しくさせていただいております。

その他、やっさ祭りの際に青色申告会で踊り手として参加していましたが、近年は花車として弊社の軽トラを提供しております。



◆火災保険を見直そうと思った理由

確定申告で財務内容を知っている尾田さんから火災保険について提案していただきました。その際、県共済の井上さんにもお越しいたごき、一概に「保険」といっても、様々なプランがあることを知りました。試算をお願いしたところ、加入している保険ではカバーしきれない箇所があったため、保険の見直しを検討しました。

保険の掛替えについて悩んだ際は、何度も足を運んで

三原市円一町で「街のでんきやさん」を営む宇根さんは、今回火災保険の見直しを行い、経費圧縮につながりました。このことについて、尾田経営指導員が、お話を伺いました。

もらい、説明していただきました。結果、納得いくプランを提示していただいたので、お世話になろうと決めました。

長年、県共済や共済制度については、商工みはらに同封されていたチラシで見たことはありましたが、自分にはあまり関係ないことだと感じていました。しかし、火災保険を見直した結果、保険料が安くなり、経費の圧縮に繋がりました。



◆最後に

現在、多くの方が電化製品を買われる場合、商品や価値が比較できる量販店かインターネットを利用していると思われるのではないのでしょうか。しかし、実際は弊社のような「街のでんきやさん」で買う人が多いのも事実です。

この高齢化社会においては、人と人とのつながりが特に大切な時代です。弊社でご購入いただく理由を、アフターフォローをはじめ、「弊社だからできる」心のこもったサービスだと捉え、日々精進してまいります。



聞き手：本所 経営指導員 尾田文治

ヴィクトワール広島 夏の佐木島を駆け抜ける



離島初開催！佐木島ロードレース

全国各地で行われるJCLロードレースが、佐木島でも開催されます。その名も「山陽建設 佐木島ロードレース」。島全体がスタジアムとなる本大会は、緩やかな起伏のある公道を、最高時速50kmで駆け抜けます。



約10チームのプロサイクルロードレースチームの闘いを、ぜひ間近でご覧ください。応援のほどよろしくお願ひします。

●日時 2023年7月8日(土)

●場所 佐木島

※当日、臨時便のフェリーが出ます。

詳しくはチーム公式HPをご確認ください▶



●当日のスケジュール(プロレースの部)

時間	内容
9:40~10:00	オープニングセレモニー
10:30~10:40	スタートセレモニー
10:40~13:30	プロレース
13:45~14:10	表彰式

1周10.5km×10周を、約10チーム×6名で競い合います。



サギ・セミナー・センターからスタート！
プロは1周15分で周回！

ヴィクトワール広島×佐木島 共に魅力発信

主催するジャパンサイクルリーグは、国内サイクルロードレース競技の普及と、自転車を通じた地域活性化を目標に掲げています。また、今季のヴィクトワール広島は選手層も厚く、地元優勝の可能性もあり、注目が集まっています。

一方の佐木島も、「トライアスロンさぎしま大会」等で、スポーツの島としての知名度を上げ、島の活性化を図っています。当日は約3,000人の集客を目標にしており、レースの様子はライブ配信されます。これを契機に、ヴィクトワール広島や佐木島の魅力を多くの方に知っていただくと幸いです。

スポーツ観戦には欠かせない飲食も

当日は、グルメブースのほか、ステージイベントも行われる予定です。

7月8日(土)は日本のトップ選手が集結して行われるプロのレースを間近で応援しよう！！



6月定期相談会のご案内

本所では各種経営相談に応じています。秘密厳守、相談無料となっておりますので、お気軽にご利用ください。

相談内容	相談日	相談員
金融・税務・創業・経営に関する相談	毎日(土日祝除く) 8時半~17時	本所経営指導員
事業環境変化対応経営相談	6日(火)・13日(火)・20日(火)・27日(火) 10時~16時	中小企業診断士
事業環境変化対応雇用労働相談	15日(木) 13時~16時	社会保険労務士
事業承継・M&A	21日(水) 13時~17時	広島県事業承継・引継ぎ支援センター
知的財産(特許・実用新案・意匠・商標)	15日(木) 13時~17時	(一社)広島県発明協会

ご相談・ご予約は 本所経営指導課(0848-62-6155)まで

登録銘菓 クリームチーズのしっとりブッセ
かもめの水兵さん



三原市本町3丁目15-7
TEL64-8383
ヤッサヤッサ

ヤッサヤッサ 西菓子舗

「続けたい」と「始めたい」をつなげる。

後継者がいないことなどを理由に「事業を譲り渡したい」とお考えの方と、創業や事業拡大等に向けて「事業を譲り受けたい」とお考えの方をつなぐ、マッチングサービス「事業承継マッチング支援」を提供しています。

日本公庫 事業承継マッチング 検索

JFC 日本政策金融公庫
国民生活事業

尾道支店(国民生活事業)
〒722-0036 尾道市東御所町1-20-4F
Tel:0570-079509

半どん夜市 三原商栄会連合会

～今年もやります！夏の風物詩～

今年の半どん夜市は、本町中央通り一丁目商栄会・帝人通り商栄会・宮沖商栄会・浮城東通り商栄会において、6月10日(土)～8月5日(土)期間の各土曜日に開催します。

商店街の中に、約40店舗のさまざまな夜店が立ち並び、大人から子どもまでたくさんの方で賑わう、懐かしい風景がそこにはあります。ご興味のある方は、ぜひ商店街に足を運んでみてください。



○場所及び開催日

場 所	開 催 日	開催時間
本町中央通り・本町一丁目・帝人通り	6月10日・17日・24日 7月1日・8日・15日・22日 ※当日は会場である、本町通り・帝人通りは車両通行止めを行いますので、ご了承ください。	18:00～21:00
宮沖(宮沖公民館)	7月29日	
浮城東通り(イオン三原店駐車場内)	8月5日	

○各日雨天の際は中止となります

開催の有無については、当日の12:00に決定いたします。決定事項は三原半どん夜市のFacebookに掲載いたします。また、三原観光協会にお問合せいただくことも可能です。

三原観光協会 TEL：0848-63-1481

※開催概要につきましては、(<https://www.mhr-cci.or.jp/handon/>)をご覧ください。

三原半どん夜市
Facebookは
コチラ



まちづくり三原 新体制2期目スタート「まちづくり三原ってなに？」

こんにちは、まちづくり三原 統括マネージャーの泉 太貴です。

この度「まちづくり三原」は2022年4月に新体制となって2期目がスタートいたしました。今回は、改めて「まちづくり三原」とはどんな組織で、どんな役割を担っていくのか説明させていただきたいと思っております。



移住冊子「ええANBAI」完成時の様子



瀬戸内美味しいマーケターの様子

■ 中心市街地の活性化

まちづくり三原では、三原市の中心市街地を活性化するための事業を目的として活動しています。行政単独ではサポートしきれない公共性の高い活動を、民間事業者のノウハウを生かし取り組む組織です。

例えば、1点目は「計画づくり」。「中心市街地活性化計画」「三原内港再生計画」「西国街道・まちづくり協議会」といった都市計画について、計画づくりのアドバイスや、計画のファシリテートといった関わりを担っています。

2点目は「実態把握」。これは、「空き家調査」「通行量調査」といった中心市街地の実態を把握する役割を担います。

3点目は、「にぎわいづくり」。「創業支援窓口」「イベント企画・誘致」といった活動を通じて市内のにぎわいとなる役割を担います。

この3つの役割を前に進めていくためには、まず、まちを担う「仲間づくり」が必要です。私はこれを「まちをつくるひと」を「つくる」というテーマで設定し、昨年度から取り組んでおります。今年度は、このテーマを実現するために主に3つのアプローチで進めていきます。

■ まちづくり三原 2023年度のアプローチ

～「まちをつくるひとをつくる」ために～

1. 企画広報活動「瀬戸内美味しいマーケター開催、他定期的なイベント開催」

イベント等を通じて、中心市街地で三原市の魅力を発信し、にぎわいの創出を目指します。

また、イベントを通じて運営にかかわる人を増やしていきます。

2. 移住推進活動「移住ツアー開催、参画」

まちの担い手となる人は、市外からも獲得する必要があります。

地域課題解決や地域活動に興味がある移住者の発掘につながるイベントの開催や参画を行います。

3. 空き家活用活動「空き家調査、空き家相談会等の開催」

いくら担い手を発掘しても、彼らが活動する拠点がなければ三原市で継続的な担い手にはなりません。

また、その一方、空き家増加問題は中心市街地においても深刻な状況となり、にぎわいや景観の低下につながります。

これらを解決するために空き家把握や、オーナーと利用者とのマッチングに向けた取り組みを行っていきます。

これらの活動に興味ある方、何か関わってみたい方などはぜひ、気軽に声をかけてください。一緒にまちを盛り上げていきましょう！

【問い合わせ】まちづくり三原事務局 TEL：0848-63-5538 <https://www.machi-mihara.info>





本文の閲覧を希望される会員の方はお申し出ください。紙媒体を送付させていただきます。

日本メンタルアップ支援機構
代表理事 大野 萌子



法政大学卒。一般社団法人日本メンタルアップ支援機構(メンタルアップマネージャ資格認定機関)代表理事、産業カウンセラー、2級キャリアコンサルティング技能士。企業内健康管理室カウンセラーとしての長年の現場経験を生かした、人間関係改善に必須のコミュニケーション、ストレスマネジメントなどの分野を得意とする。現在は防衛省、文部科学省などの官公庁をはじめ、大手企業、大学、医療機関などで年間120件以上の講演・研修を行い、机上の空論ではない「生きたメンタルヘルス対策」を提供している。著書に『よけいなひと言を好かれるセリフに変える言い換え図鑑』(サンマーク出版)ほか多数。

「三原市予算編成に対する要望書」へのご意見を募集しています

本所では、三原市のよりよいまちづくりのため、毎年10月に「三原市予算編成に対する要望書」を市に提出しています。

今年度も要望書を作成するにあたり、会員の皆様に地域商工業の活性化や一般福祉増進のためのご意見を募集します。

お寄せいただきましたご意見は、部会・委員会等で審議の上、要望書に盛り込ませていただきますので、本所までご連絡ください。

これまでの要望書の内容につきましては、下記ホームページをご覧ください。
<https://www.mhr-cci.or.jp/cci/request/>



2023 三原ミスやっさ決定しました!

5月13日(土)、本所において、「2023三原ミスやっさ」のオーディションが開催され、2名のミスやっさが決定しました。(主催：三原やっさ祭り振興協議会・中国新聞備後本社)

8月11日(金)～13日(日)の3日間、第48回三原やっさ祭りをPRするために各種行事に参加いたしますので、皆様の温かいご声援をよろしくお願い申し上げます。

2023三原ミスやっさ 大槻 日向 さん

ボランティアを通じて、三原の魅力をたくさん知ることができました。やっさ祭りは三原で一番熱いお祭りなので、様々な人との交流を通して、今度は私が三原の魅力をアピールしていきたいです。

2023三原ミスやっさ 久保 茅央 さん

たくさんの人に「一度は行ってみたい三原」、「もう一度訪れたい三原」と思っていただけのように、やっさ祭りだけでなく、グルメや観光情報も発信していきたいです。



2023 ミスやっさプロフィール

おおつき ひなた
【左】大槻 日向 (2003年5月29日生)
特技：歌うこと 職業：大学生

くぼ ちひろ
【右】久保 茅央 (2000年7月7日生)
特技：弓道(初段)・スキー(ターン) 職業：大学生

やっさ祭り 踊りチーム募集

企業・学校・町内会・同好会など仲間と一緒にやっさ踊りに参加してみませんか。

- ◆日時 8月11日(金) 17:30～19:00 子どもやっさ
19:00～21:00 正調やっさ
8月12日(土) 18:00～22:00 正調・創作やっさ

◆申込み 踊りチーム出場申込書に必要事項を記入の上、実行委員会に提出

◆参加料 1チーム10,000円

◆締切 6月23日(金)
申込書は下記からダウンロードしてください
やっさ祭り(<https://www.yassa.net>)



やっさ祭りキャンペーンテーマ決定!

「来てみんさい! 踊ってはじめて三原のやっさ」

考案者：猪股美南さん(三原市立本郷中学校3年生)

第48回三原やっさ祭りのキャンペーンテーマが決定しました。今後、ポスター等あらゆる機会に使用し、祭りを盛り上げます。作品の募集に関しまして、ご協力をいただきました関係機関、応募者の方々に厚く感謝申し上げます。

◆募集方法：三原市内の学校に通う小中学生より学校を通じて応募

◆募集期間：2023年2月14日(火)～2023年3月24日(金)

◆応募総数：753作品

小規模事業者の資金調達を支援します!!

無担保・無保証人・低金利

マル経 融資制度

0.5%の利子補給が受けられます

商品・材料仕入資金、買掛金決済、支払手形決済資金に、また機械設備・車輛の購入・店舗改装資金など、金額の大小にかかわらずご遠慮なくご相談ください。 ※利率は令和5年5月22日現在

資金用途	返済期間	融資限度額	金利
運転資金	7年以内 (据置1年以内)	2,000万円 ※1,500万円を超える場合は、一定の要件があります。	1.12% ※0.5%の利子補給で実質年利率0.62%(3年間)
設備資金	10年以内 (据置2年以内)		

- 担保・保証人は必要ありません。また手数料も一切不要です。
- 固定金利なので、借入期間中に金利が変動することはありません。
- 秘密厳守となっておりますので、他人に知られることはありません。
- 現在、この融資をご利用中の方でも重複利用、借り換えができます。悩むより、まずはお気軽にご相談ください。

お問い合わせ 本所 経営指導課 TEL62-6155

本所職員退職

本所 商工振興課の丸本 拳が、5月31日付で退職いたしました。大変お世話になり、ありがとうございました。



発行所/三原商工会議所 編集/情報化委員会
〒723-8555 三原市皆実4丁目8-1
TEL 62-6155(代) FAX 62-5900
印刷所/三好印刷株式会社